

教えるから 共に学ぶへ ⑫-1

今治市立菊間中学校
担任 南條 元皇

先日は、お忙しい中、人権・同和教育参観日へご参加いただきありがとうございました。今回の授業では、人間の尊厳を守るための重要な闘いである「渋染一揆」に焦点を当て、一揆を起こした人々の差別に負けないたくましさや優しさ、賢さを理解することを目指しました。

授業では、まず、「渋染一揆」に至るまでの背景を理解し、僕約令が出された時や一揆を起こそうと決心した時の人々の思いを考え、差別に立ち向かうことの大切さについて理解しました。そして、差別に立ち向かう人々がどのような思いを持っていたのか、班での話合いを通して一人一人考えました（A課題）。

以下は、子どもたちのワークシートの抜粋です。ご一読いただき、今回の人権・同和教育参観日に対するご感想・ご意見をいただければ幸いです。今後とも、子どもたちの道徳心を伸ばしていけるような授業づくりのため、貴重なご意見とさせていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。

差別をなくすために

- あきらめるわけにはいかない。
- 自分たちの代で終わらせなければいけない。
- これからの人たちに同じ思いをさせてはいけない。
- 差別に立ち向かう強い心。
- 同じ思いの仲間を増やしていく。

授業の感想

- 部落差別に立ち向かうのは勇気がいると思うけど、このままではいけないという思いと差別に立ち向かう強い思いを出すことができたのは、僕も見習っていきたいです。
- 差別は絶対にしてはいけないことだと思うし、差別をしてしまったら、命を落としてしまった人たちが報われないと思うから、人を思いやる気持ちを忘れないで生きていきたいです。
- 今、世界ではまだ部落差別があるので、渋染一揆を起こした人のように、私たちは身近なところのいじめなどからなくして、今後、このような差別が発生しないようにしたいと強く思いました。
- 仲間のために処罰されることを分かっていて、一揆を選んだ人たちはとても勇敢だと思いました。差別をなくすために、立ち向かう強い心を大事にしていきたいと思いました。

締め切り 11月4日（火）

切り取り線

授業へのご意見・ご感想